

国語科年間指導計画【現代の国語】

■単位数

2単位

■使用教科書

高等学校 現代の国語（第一学習社）

■目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関すること
- ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。
- イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
- ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
- エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。
- オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。
- (2) 我が国の言語文化に関すること
- ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。
- イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。
- ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。
- エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
- オ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。
- カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。
- 〔思考力、判断力、表現力等〕
- A 書くこと
- ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味いを吟味して、表現したいことを明確にすること。
- イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。
- B 読むこと
- ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。
- イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。
- ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。
- エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。
- オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能						思考力、判断力、表現力等						言語活動				教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数			
		(1)			(2)			(3)	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと								
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	ア				イ	ウ	エ
4	伝える力を培う 話して伝える	●					●					●								「私が大切にしているもの」というテーマでスピーチをする	「話し方の工夫」	(1)-ワークシート (2)-スピーチ (3)-振り返りシート	3
									●						●						「スピーチで自分を伝える」		4
5	思考力・判断力を培う 対比を用いた叙述方法を理解する	●		●	●	●		●			●						●		対比を用いて東西の文化をまとめる	「水の東西」	(1)-ワークシート (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	4	
6	思考力・判断力を培う 主題に至る論の構造を把握する			●	●			●			●					●	●		筆者の主張を簡潔にまとめる	『『本当の自分』幻想』	(1)-ワークシート (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	5	
7	伝える力を培う 話して伝える		●								●	●	●		●				ビブリオバトルでお勧めの本をプレゼンする	「理想の修学旅行をプレゼンする」	(1)-ワークシート (2)-プレゼンテーション (3)-振り返りシート	3	
9	思考力・判断力を培う 場面展開を捉え、主張と論拠を把握する				●			●		●						●			老婆の論理について自分の考えをまとめる	「羅生門」	(1)-ワークシート (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	6	
10	伝える力を培う 書いて伝える								●						●		●	●	各自で作成した取扱説明書を批評し合う	「身近な製品の取扱説明書を作成する」	(1)-ワークシート (2)-振り返りシート	6	
11	思考力、判断力を培う 論理の展開と具体例を把握する	●		●	●		●	●		●						●		●	日本の伝統的な色名とその由来をまとめる	「無彩色の色」	(1)-ワークシート (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	5	
1	伝える力を培う 情報の吟味の仕方を理解する									●				●	●				妥当性・信頼性の高い情報を引用する	「情報の探索と選択」	(1)-ワークシート (2)-レポート (3)-振り返りシート	5	
2	思考力・判断力を培う 抽象的な概念を理解する				●	●	●	●	●			●	●				●		筆者の主張に対する自分の意見をまとめる	「フェアな競争」	(1)-ワークシート (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	5	

□「話すこと・聞くこと」に関する指導の予定単位数

……

20

時間（20～30単位時間程度）

□「書くこと」に関する指導の予定単位数

……

34

時間（30～40単位時間程度）

□「読むこと」に関する指導の予定単位数

……

19

時間（10～20単位時間程度）

国語科年間指導計画【言語文化】

■単位数

2単位

■使用教科書

新編言語文化（東京書籍）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関すること
ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。
イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。
オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。
(2) 我が国の言語文化に関すること
ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。
イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。
ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。
エ 時間の経過や地域・文化の特性などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
オ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。
カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A 書くこと
ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。
イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。
B 読むこと
ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。
イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。
ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。
エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。
オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能										思考力、判断力、表現力等					言語活動					教材	評価の観点及び評価方法	配 当 予 定 時 数
		(1)					(2)					書くこと	読むこと			古典	ア イ ウ エ オ 他							
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ		カ	ア	イ		ウ	エ	オ	典				
4	古文入門 古文の世界へ 文語のきまりを理解する	●		●											●				文語のきまりを理解して 音読する	古文に親しむ 「児のそら寝」	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－音読	4		
5	文語のきまりを理解する			●						●					●				古語辞典を活用する	古文学習のしるべ1・2	(1)－ワークシート (2)－定期テスト	5		
6	随筆 古文の特徴を知ろう 作者のものの見方・考え方を捉える								●			●	●			●		●	現代版「〇〇もの」を書 く	「枕草子」うつくしきもの	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－レポート	5		
7	古文特有の表現を理解する								●							●		●		古文学習のしるべ3	(1)－ワークシート (2)－定期テスト	5		
9	物語 古人の生き方 物語に表れた心情表現を考える								●	●								●	文章と絵画を結びつけ て捉え、表現する	「伊勢物語」	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－レポート	7		
	古文特有の表現を理解する									●								●		古文学習のしるべ4	(1)－ワークシート (2)－定期テスト	3		
10	小説 葛藤する心 主題を読み取り、小説を深く味わう	●		●											●	●	●	●	元になった古典作品と 読み比べる	「羅生門」	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－レポート	8		
11	漢文入門 漢文に親しむ 漢文のきまりを理解する								●		●	●						●	漢和辞典を活用する	訓読の基本	(1)－ワークシート (2)－定期テスト	3		
12	漢文の世界に親しむ								●		●							●	寓意を考察し、話し合う	故事成語「借虎威」	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－レポート	4		
1	詩歌 うたの心 特徴的な表現技法とその効果を理 解する	●		●		●												●	短歌を作る	折々のうた	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－作品	6		
											●	●			●			柳あをめる		5				
2	小説 現実の向こう側 小説独自の世界を味わう				●						●							●	印象に残った描写につ いて話し合う	「夢十夜」	(1)－ワークシート (2)－定期テスト (3)－振り返りシート	5		

- ☐ 「書くこと」に関する指導の予定単位時間数 10 時間（5～10単位時間程度）
☐ 「読むこと」の古典に関する指導の予定単位時間数 42 時間（40～45単位時間程度）
☐ 「読むこと」の近代以降の文章に関する指導の予定単位時間数 18 時間（20単位時間程度）